

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水の蘇生で諏訪地域の新たな価値創出事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人しなとべ 諏訪市湖岸通り一丁目19番7号
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	677,960円 (うち支援金: 542,000円)

事業内容

① 諏訪湖の流入河川の水質浄化及び生物多様性の推進

諏訪湖の水質向上(透明度の向上、汚泥削減、貧酸素の解消)及び生物の多様性の目的を達成するため、諏訪湖の流入河川等の浄化活動を、新たに炭、おから、鉄粉を加えた、有用微生物ダンゴ投入により実施した。また、有用微生物群を用いたテトラポットを作製し生物により良い環境作りを実施した。4月～1月

・岡谷市小萩養魚場 ・諏訪市落水川、境川

② トライアスロン大会へ向けての環境づくり

諏訪湖でカヤック体験、ゴミ拾いなどを行った。

諏訪湖の水環境に触れ浄化意識を高めた。

8月6日 ・諏訪湖(下諏訪町)



【諏訪湖カヤック体験・ゴミ拾い】

【目標・ねらい】

- ① 生物の多様性の実現
- ② 透明度の向上
- ③ 汚泥削減
- ④ 貧酸素化解消
- ⑤ 地域住民へ環境保全の意識付け

事業効果

①②③④ 支援金を活用して、有用微生物ダンゴに、炭、おから、鉄粉を加える新たな方法を取り入れ、当該個所にダンゴ投入を実施した結果、性能の向上がみられダンゴ投入量は大幅に減少し、今まで以上に汚泥が削減し臭気も完全に除去することができた。

また、有用微生物群を用いたテトラポットを作製し生物により良い環境作りを行った結果、魚が増え、今まで訪れることがなかった釣り人も現れた。

⑤ 一般、小中学生の参加による、諏訪湖カヤック体験、ゴミ拾いなどを通じて、諏訪湖の水環境に直接触れてもらい、浄化意識を高めることができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

光合成細菌の繁殖により水質浄化や食物連鎖の良い循環ができてきて魚類の増加がみられてきた。

今後の取り組み

諏訪湖浄化を推進するため任意団体の「蘇る諏訪湖」からNPO法人を立ち上げ3年間活動したが、効果がでていながらも関わらず規制等により直接的な諏訪湖の浄化活動ができない状態で、会員の士気が下がり事業継続の先行きが不透明な状況である。会員の金銭的な負担も軽減されない中、今後の取り組みについては、総会にて法人の存続を含めて検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある